

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	各ユニットの入り口が一箇所であり、単身での外出を防ぐ為に施錠が常態化しているため、鍵を掛けない工夫が望まれる。	利用者の安全を第一に考えながら、施錠が与える利用者への心理的影響について考察し、開放に向けての取り組みができる。	施錠による安全面、危険面を考慮したうえで、再度、身体拘束についての勉強会を行い、鍵の開放にむけての対策について話し合いをする。その際、各ユニットの利用者の行動や考えられる危険についても考察する。	12か月
2					か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。